

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和2年度に対する事業評価

内部評価 令和3年7月9日ヒアリング実施 定例教育委員会にて随時協議

外部評価 令和3年8月10日ヒアリング実施 書面による評価会議にて協議

令和3年度(令和2年度繰越)に対する事業評価

内部評価 令和4年7月21日ヒアリング実施 定例教育委員会にて随時協議

外部評価 令和4年8月19日ヒアリング実施 書面による評価会議にて協議

(2) 評価の方法

内部評価

教育長、教育委員自らが教育委員会の事業や活動について、目標達成度、教育的効果、費用対効果の視点で総合的に評価を行い、教育振興計画に掲げている目標達成を確認する。

外部評価

教育関係有識者、地域からの代表者らから構成する外部評価委員会が、内部評価を基に、市民の視点及び第三者の視点から評価を行い、目標達成度、教育的効果、費用対効果の視点で点検評価を行い、より客観性を高めた評価を行う。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、達成できた。

八幡小学校屋内運動場長寿命化改良事業については、児童の利用だけではなく、地域へ開放しているとともに災害時に避難施設として機能することから、地域や配慮が必要な児童の保護者の意見を取り入れたスロープ、多目的トイレ等のバリアフリー整備を行った。

また、防災機能の強化として、非構造部材の落下対策を行い、児童生徒や地域の方が安全で安心して利用できる環境を整えることができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した ／ 達成できなかつた

【所見】

八幡小学校の屋内運動場について、個別施設計画に基づき長寿命化を図ることができた。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した 達成できなかつた

【所見】

八幡小学校の屋内運動場長寿命化改良と併せて、防災担当部署と十分に連携しながら災害対策に係る整備を行った。

学校施設ならびに社会体育施設利用者の安全性を確保するため、非構造部材(吊り天井、照明器具、放送器具等)の落下対策を行った。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した 達成できなかつた

【所見】

該当事業なし

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した 達成できなかつた

【所見】

該当事業なし

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した 達成できなかつた

【所見】

該当事業なし

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

該当事業なし

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかつた場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
近江八幡市立運動公園体育館	(2)	28	社会体育施設耐震化	-	RS	R2.11～R3.3	R3.3.18		
八幡小学校	(2)	35	防災機能強化	-	-	R3.3～R3.3	R4.3.17	令和3年度に繰越	
八幡小学校	(1)	02	長寿命化事業	屋	R	R3.3～R3.3	R4.3.17	令和3年度に繰越	
北里小学校	(2)	35	防災機能強化	屋	-	R3.3～R3.3	R3.9.24	令和3年度に繰越	
武佐小学校	(2)	35	防災機能強化	屋	-	R3.3～R3.3	R3.9.30	令和3年度に繰越	
八幡西中学校	(2)	35	防災機能強化	屋	-	R3.3～R3.3	R3.9.24	令和3年度に繰越	